

平成22年度第4回小平市図書館協議会要録

- 1 日 時 平成22年11月11日（木）午後2時～4時30分
- 2 会 場 中央図書館会議室
- 3 出席者 図書館協議会委員：11人（1人欠席） 傍聴者：1人
事務局： 中央図書館長、館長補佐兼庶務係長、館長補佐兼調査係長
サービス係長、大沼図書館長 計5人
- 4 配布資料 資料は、省略させていただきます。
- 5 議事
 - (1) 報告事項
 - ① 図書館運営状況について
 - ・図書館行事等の報告と今後の予定について（資料No.1）
（これまでの報告）
 - 9月18日 汚破損本展示 ～30日 上宿図書館
 - 9月22日 「第2回 よるのおはなし会」上宿図書館 83人
 - 9月30日 学校図書館協力員研修（中学校） 中央図書館
 - 10月 2日 汚破損本展示 ～14日 花小金井図書館
 - 10月14日 スライド講座「トムは真夜中の庭で」 池田正孝氏
中央図書館 51人
 - 10月16日 汚破損本展示 ～27日 喜平図書館
 - 10月17日 「おはなし会祝日スペシャル」花小金井図書館 15人
 - 10月23日 ブックリサイクル 各図書館ブックリサイクルコーナー
展示「イエルク・ミューラーの世界」～平成23年1月19日
中央図書館 2階展示ギャラリー
 - 10月26日 小中学校図書館協力員研修 中央図書館
 - 10月28日 学校図書館ボランティア講座（五小読み聞かせ、三小修理講習）
 - 11月 4日 鈴木小ブックトーク全学年 児童担当、相談員等
 - 11月11日 大人のためのおはなし会 花小金井図書館
 - （今後の予定）
 - 11月17日 児童文学講演会「児童文学にえがかれた家族」市村久子氏
中央図書館 予定
 - 11月18日 小中学校図書館協力員研修 中央図書館 予定

- 1 1月20日 福祉講演会「人と犬の共生」大木トオル氏
小川西町図書館 予定
- 1 2月 5日 大人のための図書館探検ツアー 中央図書館 予定
- 1月 5日 ふるさとの新聞元旦号展～13日 中央図書館、
15日～19日 大沼図書館 予定
- 1月22日 蕨内正幸絵本原画展（仮題）～3月16日
中央図書館 2階展示ギャラリー 予定

② 平成21年度決算特別委員会について

図書館に関する質問は2件あった。

1件目は「学校図書館との連携における平成21年度 of 取組について」

2件目は「DAISY 図書について」「学校図書館支援における学校図書館協力員配置後の貸出冊数の変化及び司書教諭と協力員との役割分担・有機的な連携について」

③ 教育委員の就任について（資料No.2）

退任 吉田昌子氏 任期終了

新任 山田大輔氏 任期 平成22年11月1日～平成26年10月31日

④ 事業仕分けについて（資料No.3）

事業仕分けは、各事務事業について事業の必要性の有無や運営主体など、事業の在り方を見直し、その後の予算編成に活用する目的で行った。今年度は昭和25年から40年間続いている事業が対象である。図書館では19の事業が対象になり同種の事業は一括したので3日間9回に分けて検討会が行われた。

8月10日は津田図書館・公民館、大沼図書館・公民館、東部市民センター、西部市民センター施設管理事業という複合施設となっている4つの図書館の施設管理事業が対象となった。仕分けの結果は「要改善」。東部市民センターの借地料と施設管理の主体について、見直す必要があるのではと指摘を受けた。

8月24日は8館すべての図書館の運営管理事業と資料収集に関する事業が対象となった。運営管理事業の仕分けの結果は「要改善」で施設数が多いということもあるが、図書館本来の必要な機能を見直し、運営や実施の形態等も視野に入れて、経費の削減を図ってほしいとの意見をいただいた。図書資料の収集事業は「現状のまま」であった。視聴覚事業は「要改善」で人件費の削減に努めるようにとの意見をいただいた。障害者福祉推進事業は「現状のまま」であった。

9月22日は地域資料の関係が対象となった。古文書の収集・整理・保存事業は「要改善」で効率的な運営、経費の削減を図ること。また、現在古文書のデジタル化を進めているが、さらにデジタル化の推進と、利用に供する広報に取り組

むこと。地域資料の収集・整理・保存事業は「要改善」で人件費の削減を図ること。新聞記事及びリーフレットの収集・整理・保存は貴重な資料ではあるが費用対効果の面から「廃止」という結果が出された。郷土写真資料の収集・整理・保存事業は「要改善」で効果的・効率的な運営に取り組むことという意見をいただいた。

⑤ 仲町公民館・仲町図書館改築に伴う基本設計について（資料No.4）

7月に建替えに係る方針を決定し、その後プロポーザル審査委員会を設置した。審査委員会でプロポーザル実施要領を設定し、7月15日から8月2日まで市のホームページ等で基本設計業者を募集し、35者から提案書が提出された。9月17日に第1次審査を実施し、事業者の業務実績、実施体制、提案書内容、見積額等を総合的に審査した結果、6者を選定した。9月29日に第2次審査を実施し、提案についてのプレゼンテーションを行い、取組意欲、事業内容の理解度、提案の的確性・創造性・実現性等を総合的に評価して最も優れた提案を行った、株式会社妹島和世建築設計事務所を選定した。

住民説明会の日程は、第1回目12月17日（金）午後2時～4時、第2回目12月18日（土）午後7時～9時、第3回目12月19日（日）午前10時～12時の3回。いずれも会場は仲町公民館。広報は12月5号の市報、市・図書館のホームページ、ポスター、チラシ等で行う。

住民説明会実施後の予定は、いただいた意見を踏まえて基本設計を平成23年3月までに完成させることになるが、その前に報告を行う住民説明会を再度開催する予定。時期は年度内に行うが詳細は未定。その後23年度は実施設計。24年度・25年度に解体工事・本体工事。26年度第1四半期にリニューアルオープンする予定である。

<報告に対する質疑・応答>

委員：12月12日に東京都公民館研究大会で小川公民館も使う。小川分室にも影響があると思うが何か検討しているか。

事務局：来館者が多数と思われるので、分室も応援が必要なら対応する。

委員：事業仕分けについて「廃止」とされたのは、新聞記事及びリーフレットの収集・整理・保存事業だけか。調書の見方がよく分らない。

事務局：配布した調書には「廃止」「要改善」の記載はされていない。委員会で出た結果を報告した。

委員：新聞記事及びリーフレットの収集・整理・保存事業は「廃止」になるのか。

事務局：「廃止」は仕分け委員会の意見であり、それは尊重しなければならないが、図書館としてはすべて廃止するのではなく、小平の情報として何らかの方法で最低限収集していきたいと考えている。

委員：人件費的なところで問題になっているようだが、ボランティアの活用なども絡んでくるのか。

事務局：ボランティアの活用と、職員の嘱託職員化などの意見もあり、具体的には郷土写真の整理などで指摘を受けた。

委員：事業仕分けの結果は市政に反映するのか。それぞれのセクションでこういう事業仕分けを行っているのか。

事務局：結果は仕分け委員会から市長に報告する。仕分けの対象になった課は出された結果を踏まえ、今後事業を見直し改善していく。

委員：市政に反映される時期はいつ頃か。

事務局：早ければ来年度。ただ、すでに予算編成時期となっているので間に合わない場合もある。

委員：予算編成という形で反映させるのか。

事務局：反映されるものと、されないものとある。反映の仕方はそれぞれの事業の在り方による。早いものは来年度の予算編成に反映されるものもある。予算編成にはすぐ反映はしない場合も事務改善等で見直し、有効的な事業展開をするなど、何らかの形で反映させていく。

委員：この報告はもう提出されたものか。

事務局：まだである。仕分けが終わり委員会での結果が出たところである。次回の協議会は1月になるため今回報告した。今回配布した資料は委員会に提出した調書で、結果の資料はこれからになる。

委員：事業仕分けの調書の中では図書館8館の費用が約8億で、人件費が約半分と思うが、仕分け委員は図書館全体の予算を見ているのか。

事務局：この調書の他に予算書、決算書、事務事業評価票など基礎的な資料を配布している。全体を見ながら図書館は費用がかかっているとの話が出た。

委員：大沼図書館運営管理事業の事業費の中に人件費は含まれているのか。

事務局：嘱託職員4名分にかかる報酬が含まれる。人件費はあくまでも職員である。

委員：仲町公民館・仲町図書館改築に伴う住民説明会では、委託業者に決定した妹島建築事務所がプロポーザルの内容を行うのか。

事務局：プロポーザルでの提案に図書館・公民館からの実現可能な意見等伝えてレイアウト的なものを作っている。住民説明会では、これを示し意見を伺う。

委員：住民説明会に出す資料等ホームページで公開するか。

事務局：今のところその予定はない。

委員：プロポーザルも含めてか。

事務局：資料は住民説明会の参加者に出すことになる。

委員：参加者は市民の一部である。インターネットでオープンにするのが、最近の通常の状態と思うが、費用がかかるからか。

事務局：費用がかかるということはないが、提案書の内容には著作権があるので公開

はしていない。

委員：委託することは決定している。決定していることは市民にオープンにしてもいいのでは。

事務局：市民の方からご意見をできるだけいただきたいので説明会の場で配布することは考えている。何らかの経過が分かるものを事業者と相談しながらお知らせ出来ればと考えている。

委員：説明会を聞いた後、子ども文庫連協で意見を出したいが提出方法はあるか。

事務局：日程の問題もあり、説明会で出た意見を集約して反映させる予定である。

委員：年度内に意見をもらうという事は3月までの意味か。

事務局：3月にはすべてを仕上げる。説明会で頂いた意見がある程度形にして、年明けに再度説明会を開く。そこでの大きな修正は難しい。実施設計の中で変更できる部分は反映するが、いつまでなら意見を取り入れられるかは事業者と相談する。

委員：決算特別委員会の質問で出た DAISY 図書の相互貸借先の図書館は。

事務局：今、その資料を持っていないので後ほどお伝えする。

委員：上宿図書館の夜のおはなし会は大変盛況だったがどのような内容か。

事務局：読み聞かせ、紙芝居、おはなしであり、夜ということで少し怖いお話などを入れ盛り上がった。

委員：子どもおたのしみ会は無くなったのか。

事務局：今年も継続して各館で行う予定である。

委員：汚破損本の展示についてご覧になった方の感想はどのようなものがあるか。

委員：子どもからの感想が多かった。「びっくりした」「驚いた」など。

委員：このような展示で、汚破損本が減るとよい。

事務局：返却時に注意はしているが、無くなることはない。

委員：汚破損本を見せる事は必要。特に小さなお子さんに見せることはかなり影響がある。

委員：この展示で本を大切する事が大事と気づいてほしい。

委員：事業仕分けで「廃止」とされた新聞記事及びリーフレットの収集・整理・保存事業では、新聞記事とリーフレットの収集は違う作業である。特にリーフレットの収集は他では得られない情報である。予算のそれぞれの配分はどれくらいか。

事務局：事業費の印刷製本費は257,000円。内訳は新聞記事切り抜き、リーフレットの折り込み広告、新聞多摩版記事切り抜きの製本費で、各単価の数字は今手元にない。委託料は589,000円で、新聞記事切り抜きにかかる経費である。

委員：小平市に関する記事及び多摩版の記事は、別に費用がかかるにしても商用データベースからも得られるのでは。

事務局：得られる情報と、今まで収集していた個人の投稿など得られない情報もある。

事業費との兼ね合いの中でデータベースの活用も考えて行きたい。

委員：リーフレットは長期にわたって収集され、他にはない貴重な資料になる。新聞記事切り抜きと同じ事業になっているが分ける方が良いのでは。

事務局：この事業については、見直しを迫られている。リーフレットは他には無い価値ある資料なので、毎日ではなく週に1回など縮小して収集していきたい。新聞記事切り抜きについては、データベースに移行するののひとつの方法かと考えている。

委員：必要なもののスクラップは大変難しい。委託でどのように新聞記事切り抜きをしているか。

事務局：小平市に関する事、多摩郷土的なものなど、新聞記事切り抜きマニュアルに沿って切り抜いている。

委員：スクラップは細かくすると際限がないが、荒っぽくすると値打ちがない。

委員：広告の収集は予算がないので縮小しようとなりがちだが、毎日収集する事に意味がある。新聞と広告が毎日揃っている所に意味がある。何らかの形で電子化する時期も来るのではないか。

事務局：検討したい。

委員：この事業は「廃止」となっているが、どこか他の事業に付けてでも残したいとの意見が出ているが、付けた所は予算が増えてしまう。そのような対応は可能なのか。「廃止」とはどの程度のものなのか。

事務局：「廃止」となった事業も必要な所は事業の在り方を、再度市の仕分け担当課と調整して行きたい。

委員：「廃止」の結果でも、大事な部分は何らかの形で残してほしい。

委員：広告はこの収集でしか見る事が出来ない。

(2) 協議事項

- ・特になし